

日本社会事業大学同窓会 栃木県支部

会報 いずみ 第14号 (R8年9月)

栃木県支部事務局：真岡市高勢町 2-248-5 菊池方

Tel 090-2321-0902 e-mail: k0226@mbd.ocn.ne.jp

社会福祉セミナーin栃木開催！

7月11日(土) ライトキューブ宇都宮にて、同窓会本部主催による「社会福祉セミナーin栃木」が開催されました。

当日は、スタッフや ZOOM 参加者まで含めると、約100名の参加がありました。セミナー終了後に行われた懇親会も、大いに盛り上がりしました。

【当日のプログラム】

◎基調講演 「これからの時代のソーシャルワーク」

永島徹氏 (NP0 法人風の詩理事長・社大特任准教授)

◎活動紹介・問題提起 「障害者福祉活動実践の最前線から見えるもの」

コーディネーター 曾根 直樹氏 (社大研究所客員教授)

事例発表 すぎのこ会 (川田良実氏・松崎美江子氏)

パステル (石橋須見江氏)

同愛会 (菊地月香氏)

◎実践報告 「私たちのオレンジリボン運動について」

社大ボランティアサークル「オレンジクレヨン」





(懇親会への県参加者・敬称略)

石橋俊一、石橋須見江、小河原貞一、菊池浩史、菊地月香、小菅恵子、鶴岡浩樹、
永島徹、中島麻里、中島峻太、檜山浩、松崎美江子、森田未央、矢口富士夫、渡邊初美

ハンセン病療養所の過去・現在・未来

《学部 6 期 田村匡彦》

群馬県草津町にある栗生楽泉園には現在 23 名が入所していて、平均年齢は 90 歳です。今から 20 数年前、私は入園者の桜井哲夫（本名長峰利造）さんに会いました。津軽の家から草津に来たのは彼が 17 歳の時で、見送る母親は「来年の春しまっこが溶ける頃には病気が良くなって帰ってこれるから。」と決意を促したそうです。「無らい県運動」が全国を覆っていたのです。入園して 10 数年後、失明。

自宅（入所者居室）に私を招き入れ、両手両足の指がほとんど失われているのを隠すこともありません。園生活を冗談交じりに話し、明るさを感じさせる人物でした。私からは自分の青年時代の話をしたのですが、自作詩集『タイの蝶々』を土産にと渡してくれました。園正門に近いところには『重監房』の跡があったと記憶しています。

医学的な知見などを総合すると 1960 年以降はハンセン病隔離の必要性が失われていました。1996 年 4 月 1 日らい病予防法は改正ではなく、廃止（H8 法律第 28 号）されたのです。2001 年 5 月 11 日、熊本地方裁判所は「らい予防法」違憲国家賠償請求訴訟で隔離政策を憲法違反とする判決を下しました。参照：下野新聞 2001.6.1 大谷藤郎「免れ難い政治家の責任」

1964 年 4 月から私は日社大 3 年生として編入学を許可されました。受験のきっかけは 20 歳の時大島青松園を訪ねたことにありました。全国でただ一つ就航船を利用する小さな島に作られた療養所で、入所者の大西勇二さんに出会い文通を重ね深交を得たのです。

2000 年 5 月私は青松園を再訪し、この時には周囲からの信頼が厚いリーダーの一人である中石俊夫さんにお会い出来ました。旧知の間柄のように親しく、そして園の理解を一層深

めることになる案内があり、帰りには船着き場まで見送ってくれました。この出会いはかけがえのないもののなのに、そのお二人の実名を私は知ることがないままです。

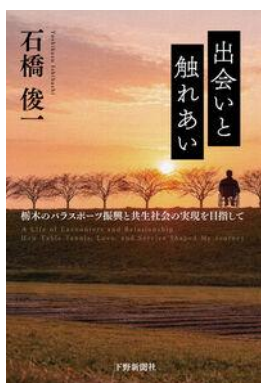
香川県高松市庵治町にある大島青松園には現在 29 名が入所していて、平均年齢は 88.7 歳となっています。1909（明 42）.4.1 開所以来の入所者延べ数は 3,944 人（男 2,982 人 女 962 人）です。栗生楽泉園等他の療養所でも共通して取り組まれているのですが、高松市は「大島を未来へつなぐ会」を発足させて将来構想を検討しています。人権侵害の歴史に対し後世への戒めとなる将来構想を具現化することによって、再び過ちを繰り返さないという自覚を高めたいものです。



中石 俊夫さん

現在 100 万筆を目標に、「ハンセン病問題基本法の改正を求める署名」運動が全国で取り組まれています。

「出会いと触れあい」～栃木のパラスポーツ振興と共生社会の実現を目指して～



石橋俊一同窓会栃木県支部顧問が新著を出版されました。

卓球との出会いが織りなしたある男の軌跡。

3歳のときのケガで足に障害を負った。前向きに生きる支えとなったのは、卓球だった。障害者スポーツという概念さえ存在しなかった時代、ひとりの競技者として卓球に向き合った経験を起点に、著者は一步步障害者福祉への道を歩み始めていく。善いと信じれば躊躇なく邁進していく実行力はやがて、「栃木県パラスポーツ発展」の萌芽へと繋がっていく。（Amazon の紹介文より）

420 ページの大作です。これだけボリュームある作品を書ききるその心身のエネルギーの充実ぶりにまず圧倒されます。

これ一冊で栃木県のパラスポーツの軌跡、そして戦後の障害者福祉の変遷も理解できる内容となっています。記録というか、歴史書のような趣すら感じられます。

数十年前のことも、かなり詳細な記述となっており、石橋顧問の細かいことにもきっちりお心配りされるお人柄がうかがえます。

県内の書店や大手通販サイトで販売中です。会員の皆様、ぜひご一読のほどを。

会費納入・カンパにご協力お願いします！

今年度も同窓会の円滑な運営のため、会費(2,000円)納入とカンパにご協力をお願いいたします。

振込口座 筑波銀行 鹿沼支店 普通口座 1030143 菊池浩史

令和7年度会費納入者 (順不同・敬称略)

奥村厚子・小暮智偉・山田登子・住田ふじえ・植木博美・◎折井由紀子・長谷川孝範・
菊池浩史・星野かおり・永島徹・◎渡辺則子・檜山浩・石橋俊一・石橋須見江・田村匡彦・
関久美子・小菅恵子・◎伊藤勝規・◎小倉ゆかり・松本暢子・◎印南亘康・中島麻里・
◎福田隆男

(◎はカンパをいただいた方です。)

令和7年度 決算報告

収入			支出		
会費	43,000		通信費	51,620	会報・通知送付
補助金	30,000	五味基金	総会費	3,000	
寄付金	18,000		印刷費	74,148	会報・通知印刷
繰越金	103,052		慶弔費	0	
雑収入	194	利息収入	消耗品費	0	
			雑費	0	
収入計	194,246		支出計	128,768	

収支差額 65,478円 (令和8年度に繰越)

編集後記

もともと映画は大好きですが、このところ見たい映画が目白押しで、この1か月に見た作品は「野火」「機動警察パトレイバーEzy2」「オクストリートの異変」「ラストサバイバー」「開戦前夜」「ヒンド・ラジャブの声」「戦場0地点」「温泉シャーク2」「ルックバック」「オデュッセイア」。

今で言うところの機能不全家族で育った私は、父親がロールモデルにならなかったのも、人生について映画や本、マンガで学びました。私が浮世離れな人間なのは、実体験ではなく書物や映像で人生を学んだせいだと思います。まあしゃあない。